



# ひきやま 「有楽こども曳山祭り」

お祭り情緒あふれる 笛や太鼓・鉦<sup>かね</sup>の音が聞こえてきたら、心が躍ってきませんか？

このお祭りにまつわるお話を是非聞いて下さい。

## ～自治会と「久敬社塾」のつながり～

有楽自治会は、昭和 43 年に千代ヶ丘 2 丁目にある「久敬社塾（きゅうけいしゃじゅく）」の当時の島田英治塾監（じゅくかん）のお声がかかりによって結成されました。昭和 53 年に有楽自治会館が完成するまでの間、久敬社塾の一室を借りて自治会運営がされていたそうです。この久敬社塾にゆかりの深い「お祭り」が、やがて自治会のお祭りへとつながっていきます。

## ～「久敬社（きゅうけいしゃ）塾」とは？～

旧唐津藩主・小笠原家を中心に在京同都人の懇親と人格向上を目的として、明治 11（1878）年に東京千代田区番町の小笠原邸に「久敬社」という集まりをもったのが始まりです。佐賀県唐津市出身である青雲の志を持った多くの若者たちが学生寮「久敬社塾」で都会の生活を送り、多くのことを学び、さらに後輩の面倒をみて世の中に羽ばたいて行きました。明治の日本近代化の黎明（れいめい）期の青年たちに、これから「どう生きて行くか」を考えさせる大切な寄宿舎でした。明治・大正・昭和と幾度の移転の後に、昭和 41 年（1966）春、ここ千代ヶ丘 2 丁目に居を構えました。

## ～当時を知る方のお話によると～

『島田英治塾監は、大変に人望のあるお方でした。私が越して来た当時はまだ家がまばらにしか建っていませんでしたが、島田氏はこの地を纏め（まとめ）ようと大変な力を注がれました。寮生たちにも、この地に協力するのも人格形成の一環だと指導されて、自治会のお知らせ等は寮生が配布してくれたものです。』

久敬社塾の移転当初から、寮生たちが故郷の唐津を偲んで、最大の祭りである「唐津くんち（毎年 11 月 2・3・4 日に開催）」の曳き山を模した山車を製作し、独自で近隣を曳いて廻っていました。やがて、二代目塾監の中山英雄氏が昭和 52 年（1977）に着任すると同時に、子供たちも曳けるように改良して、有楽自治会の祭りとは合流し「有楽こども曳山祭り」として自治会の中に根付いてきます。

久敬社の初志と思いをしっかりと受け止め、「有楽こども曳山まつり」が子供たちにとって楽しい思い出となり、また地域に根付いた秋の恒例行事としてこれからも大切に育てていきたいものです。

平成 28 年度 第 51 回「有楽こども曳山祭り」 10 月 16 日（日） 10：00～

※雨天の場合は曳山巡行は中止となりますが、子供たちへの「お楽しみ券」は配布します